

角高だより

HP <https://kakuko.myswan.ed.jp/> Email kakuko@od.myswan.ed.jp



宮城県角田高等学校
〒981-1505
宮城県角田市角田字牛館1
☎ 0224-63-3001
FAX 0224-63-0523

創作音楽劇「宇宙の子ども」

2月11日(火)にかくだ田園ホールで「うえいく」(角田市芸術文化振興会)と角田高校生による共同企画である創作音楽劇「宇宙の子ども」～夢よ羽ばたけ、角田の大地から～が上演されました。角田市在住の児童文学作家の堀米薫さんのストーリー原案を基に本校演劇部が台本を手がけました。今回の演劇に合わせて劇中歌が6曲作られました。角田高校出身のシンガーソングライターL i h oさんと堀米さんが作詞を、渋谷牧人さんが作曲を担当してくれました。その劇中歌を佐藤寿一さんが指揮する宇宙の子どもアンサンブル(バイオリン・チェロ・ヴィオラ・マリimba)の演奏に合わせて、角田高校合唱部と宇宙の子ども合唱団が歌いました。アンサンブルは本格的なもので、公演全体に重厚感を与えてくれました。劇は角田の仲の良い少年少女が宇宙人と出会い、彼との交流を通して友情と夢を育てていくもので、劇の至る所で角田の名産が紹介されるなど角田市で創り上げた壮大な音楽劇に仕上がっていました。演劇部の1年生の中には今回初めて舞台を踏んだ生徒もいましたが、この数ヶ月の間にプロの指導を受けるなどして着実に力をつけていき、堂々とした演技で観客を魅了していました。また、合唱部も数は少ないながらも会場全体に響き渡る声で迫力ある歌声を披露していました。日頃から授業を担当している身としては、教室とのギャップにただただ驚くばかりでした。公演後には多くの方々から角高生へのお褒めの言葉をいただきました。



みやぎ高校生フォーラム

2月1日(土)に宮城県庁で「みやぎ高校生フォーラム～私たちの志と地域貢献～」が開催されました。宮城県内すべての高校から代表者が集まってポスターセッションを行った後、全体会が開かれて代表校による地域貢献活動の発表や意見発表、パネルディスカッションが行われました。ポスターセッションでは、角高生徒会役員2名が小中高合同朝の挨拶運動やかくだふるさと夏まつりへの合同出店、1年生が行っている角田商店街調査などについて、白石高校生や伊具高校生に分かりやすく説明していました。また、全体会のパネルディスカッションには角田高校は2年連続でパネラーに選ばれ、3年生の高橋美穂(船迫中出身)が秋に行われた角田市議とのまちづくりワークショップでの経験や角田商店街調査や仮装行列で町の人々との触れ合った体験をもとに、地域交流活動の重要性を語りました。また、午前中に一緒にパネラーをした各学校の同年代の生徒たちと語り合ったことで大いに感銘を受けたようで、最後に会場の高校生に向けて「この会場で聞いたことを是非学校に戻ってから友だちや仲間伝えてほしい」と訴えかけていました。



角田小学校夢朝会 吹奏楽部演奏

2月4日(火)に角田小学校の夢朝会で角田高校吹奏楽部が演奏を披露しました。曲目は、忍たま乱太郎でおなじみの「勇気100%」、あいみょんの代表作「マリーゴールド」、そしてゴールデンボンバーの「令和」でした。真冬の寒さが厳しい朝でしたが、部員は早くから体育館を借りて入念に音出しをしていました。演奏が始まると、小学生が知っているなじみの曲ばかりだったこともあり、みんな熱心に聞いていました。アンコールの後には坂本九の代表作「上を向いて歩こう in swing」を演奏しましたが、非常にアップテンポな感じにアレンジした曲で、ついつい体を動かしてしまいそうになるリズムでした。きっと全校児童はリズムカルに1時間目の授業に臨めたのではないのでしょうか。



アメリカ短期研修特別英会話講座

2月13日(木)に今年度アメリカ短期研修に参加する1・2年生10名を対象に特別英会話講座を開きました。今年のアメリカ短期研修は例年になく希望者が多かったのですが、面接と英語テストを実施して10名が選ばれました。中には中学生の時に自治体が主催するアメリカへのホームステイに参加した生徒もいますが、初めてアメリカへ渡航する生徒もいるため、英会話なども含めて準備は入念にしています。

